



令和5年2月17日

草津市議会議長 中嶋 昭雄 様

草津市議会会派 市民派クラブ  
会長 奥村 恭弘



草津市議会 市民派クラブの令和4年度政務活動費実施研修（会派研修）の結果について、下記のとおり報告書を提出いたします。

記

1. 期間 令和5年2月7日(火)
2. 日程  
令和5年2月7日(火) 10時～13時  
株式会社 地方議会総合研究所 主催  
セミナー名「市長経験者が明かす！代表質問・一般質問の極意」  
ヤサカ四条烏丸ビル2階会議室
3. 参加者 土肥 浩資
4. 添付資料  
別紙のとおり

## 政務活動報告

市民派クラブ 土肥 浩資

日時:令和5年2月7日10:00~13:00

場所:ヤサカ四条烏丸ビル2階会議室

参加者:土肥 浩資

セミナー名:市長経験者が明かす!代表質問・一般質問の極意

講師:合資会社まちづくりコーディネートセンター代表 平井 竜一(前逗子市長)

### 【目次】

1. 一般質問の極意
2. 受講者の一般質問を採点
3. 代表質問で何を問うべきか
4. 格調高い質問で差をつけろ!
5. 受講者(会派)の代表質問を採点
6. 理想の代表質問を組み立てよう

### 【概要】

#### 1. 一般質問の極意

##### ①一般質問のタイプ別類型

- 1) 質問と答弁を事前に行政とすり合わせてシナリオ通りに質問・答弁する「出来レース型」
- 2) 行政との事前の答弁調整なしに徹底的に批判・追及する「批判追及型」
- 3) 事実確認の質問の後、要望を言って自らの実績にする「要望アリバイ型」
- 4) 持論を展開した意見表明に時間を割き、行政への質問は二の次になる「自己満足型」
- 5) 問題を指摘し、行政の見解を質すものの、かみ合わず実現に至らない「問題提起型」
- 6) 問題点を分析し、対案を示しながら行政の見解を質し、実現に導く「政策論争型」

##### ②市長から見た悪い質問とは?

- 1) 調べればわかることを質問する
- 2) 行政の取組みの進捗と見解を聞くだけ
- 3) 具体的な解決策の提案がない
- 4) 行政批判に終始する
- 5) 一方的見解だけ述べて質問を終わる
- 6) 財源の根拠もなく要望する
- 7) 与党的立場だからと、何も批判しない

##### ③市長から見た良い質問とは?

- 1) 現状の問題点と原因を的確に分析
- 2) 将来ビジョンと合致した政策を示す
- 3) 具体的解決策の提案がある
- 4) 担当部署が課題を共有し、解決に向けた取組みに導いている
- 5) 財源と政策の優先順位が明確である
- 6) 継続して採り上げ、質問を発展させる

#### ④一般質問バージョンアップ

- 1)「検討する」との答弁で終わらせない
- 2)政策間の優先順位を質す
- 3)財源の裏付けを質す
- 4)他市の先進事例を参考にすれば、当市に合わせた取組みを提案する
- 5)予算がついて満足せず、実施過程を事後評価にもこだわる

#### ⑤一般質問だけでは動かない

- 1)得意分野、実現したい政策に精通する
- 2)担当課長と良い関係をつくる
- 3)市長とコミュニケーションできる関係をつくる
- 4)関係する市民と協力する
- 5)できるだけ多くの議員の賛同を得る
- 6)SNS、マスメディアなどを活用する

### 2. 受講者の一般質問を採点

#### ① A 議員の場合

##### 【要望アリバイ型】

商工業振興条例制定を要望(自らの支持母体の利益を代弁する質問)。事実確認と要望するだけで終わり、行政はゼロ回答。

↓

提案する政策によって生まれる効果を他市と比較しつつ、必要性を行政に認めさせることをしなければならぬ。可能であれば、議員提案での条例制定を目指すことも選択肢としてある。

#### ② I 議員の場合

##### 【問題提起型】

子どもの貧困対策。子どもの貧困対策計画と条例制定、データ分析と部署間のデータ連携、プッシュ型支援、個人情報保護法に基づくデータ連携の現状を確認。

↓

事実と見解の確認にとどまり、何が問題か不明確。市の計画は十分なのかを確認すべき。また、課題を指摘したうえで原因を追求し、いつまでにどのように実現するか答弁を引き出すべき。条例は議員提案も可能。

### 3. 代表質問で何を問うべきか

- ①わがまちのビジョンを問え
- ②最重要課題を論ぜよ
- ③財政に切り込め
- ④問題予算を指摘せよ

### 4. 格調高い質問で差をつける

- ①自らの所信を語るべし
- ②施政方針及び予算の評価点と問題点をあぶり出せ
- ③問題点に対する対案を示せ

### 5. 受講者(会派)の代表質問を市長の目線で採点

#### ① T 議員の場合

##### 【骨太迫及型】

市長公約と総合計画の整合性、人口減少問題、行財政改革、職員活性化、高齢者対策の充実、たばこ生産地として喫煙者と非喫煙者の共存

↓

大局的質問で構成し、代表質問にふさわしい。重点事業に対して必要性と効果を質し、予算の評価と問題点を明らかにされたい。再質問ができればさらに議論が深まる。

#### 6. 理想の代表質問を組み立てよう

- ①わがまちのビジョンを問え
- ②最重要課題を論ぜよ
- ③財政に切り込め
- ④自らの所信を語るべし
- ⑤施政方針及び予算の評価点と問題点をあぶり出せ
- ⑥問題点に対する対案を示せ

#### 【所感】

市長経験者だからこそ受講者に話せる本音があり、良い勉強になった。

一般質問で類型を幾つか示されたが、そのうち「出来レース型」「要望アリバイ型」は、答弁する側にとっては非常に楽な質問とのこと。また、「批判追及型」については対案もなくひたすら批判してくるだけなので、相手にしないとのこと。そして「自己満足型」にいたっては大抵の場合何を言っているのかわからず、ただただ持論を語り続け、ろくに答弁も求めてこないのも、これもまた答弁する側にとっては非常に楽な質問であるとのこと。

こうした類の質問が繰り返されると、議場に拘束されている他の議員や執行部にとっては、とにかく時間のムダであり、何より市民のためにならない。このことについては、このセミナーを受講するまでもなく気を付けてきたことなので、ことさら目新しさも感じなかった。一方で、これまでの自分が本当にこうした類の質問に陥っていなかったか、気を引き締める必要はある。

やはり、同じ質問時間を使うなら、問題点を分析し、対案を示しながら行政の見解を質し、実現に導く「政策論争型」でもって臨まなければならないだろう。

年に4度の定例会で質問できる議員は正副議長と監査委員をのぞく21名。つまり1年間に最大84回しかない貴重な機会を市民にとって有意義なものにするため、私たち議員は市民の代表であるという自覚をより強く持ち、行政に対峙しなければならないと感じた。